

地域奉仕活動（竜王中学校）

生徒総会で地域への恩返しとして奉仕活動を行うことが決まり、生徒会主催で放課後に行われました。生徒会長が、ふるさとへの恩返しを形にして表しましょうとあいさつをした後、全校生徒が3つのルートに分かれてゴミ拾いに出発しました。道路沿いの歩道に落ちている紙くずや空き缶などを拾ったり、出会った人に笑顔で「こんにちは」とあいさつしたりして気持ちのよい汗をかきました。人に言われてからやるのではなく自ら考えて行動することで、生徒の心の中には、地域を愛する心がより育まれていくと思われています。



持久走大会（高千帆小学校）

初冬を迎え、各校で持久走大会が行われています。高千帆小学校でも、全学年1kmの距離で学年ごとに開催されました。全学年の距離が同じであるのは、毎年の記録の伸びを知るためです。子どもたちは校長先生の号砲でスタートし、運動場の外回りから内回りへとコースを変えながらゴールを目指します。途中で、先生や保護者から「いいぞ、その調子」「前の人についていって」「あと少し」などの声援を受け、最後まで走り抜きました。多くの保護者が、コースに立って大会運営に協力したり、応援したりする姿が見られました。



小中合同避難訓練（埴生小中一貫校）

埴生小中一貫校で、地震の発生に伴う火災と津波を想定した避難訓練が行われました。今回初めて地震を想定し高台に避難する訓練が加えられました。児童生徒は、教員の指示に従って無言で迅速に行動することができました。津波へ対応する二次避難では、中学生と小学生がペアになり、安全な場所まで10分程度歩きました。さまざまな状況を想定した避難訓練を繰り返すことで、いつどこで起こるか予測できない自然災害に対して、自らの命を自ら守る意識と行動力を育てることになります。

